

【渋谷区教育委員会 教育目標】

- つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校。
～未来の学校で大切に、7つの力～
(子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために)
基礎、探究、自律、協議、共感、創造、挑戦

【笹塚中学校 教育目標】

- 自律 学び方を習得することによって学ぶことの楽しさを知り、生涯にわたって自ら学んでいくことのできる主体性を育成する。
□ 協働 考えを出し合うことでよりよい答えをつくることができること、多様な考えが統合されて新しい考えが創出されることを習得することによって協働性を育成する。
□ 参画 自分の特性を知り、その特性を活かして社会に参画する力(「ちがいをちがいに変える力」)を育成する。

学びの変革(未来の学校の実現)・探究的な学びの実現

- 「学力向上を図る全体計画」に基づく計画的実施
○学びの変革、探究的な学び、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
→「校内研修計画(TLD)」に即して計画的に実施 全教員による「コミュニケーションツールを活用した対話的な学び」授業実践
○主体的に学習に取り組む態度の醸成
→ICTの効果的な活用・授業DX・DC教育の推進
→タブレット端末を主体的に活用する授業スタイルへの転換 ねらい・考える場面・協働学習・振り返り・家庭学習(セルフラーニング・タブレットの活用)
→情報活用能力・言語能力・問題発見解決能力の育成
○探究的な学び指導計画の作成→シブヤ未来科の推進←教科横断的及び地域・企業等との連携による体験を通した学び
○豊かな人権感覚を醸成する教育活動の推進 道徳教育の充実
→QU、教育ダッシュボードの有効な活用による生徒理解
→人間尊重の精神 自尊感情の醸成 多様性の尊重
→人権教育プログラムを活用した人権課題への取組
○年2回生徒による授業アンケートを実施→授業が分かりやすい80%以上
○学習機会の拡充→補充教室の組織的な実施(定期考査前・長期休業(対象生徒60%以上))放課後学習教室(週4回実施)
○学習習慣・家庭学習への支援←授業内に指示、取り組みたくなるしくみ作り
○評価説明資料の作成・活用→個人内評価充実・個別最適化・学習意欲向上
○読書活動の充実←「しぶやおすめの本50」活用

特色ある教育活動の推進

<生徒の主体性の涵養>

- 生徒の主体性の涵養:生徒の考えを学校運営に生かす
<グローバルアントレプレナーシップ>
「グローバルコミュニケーション」「アントレプレナーシップ」を掛け合わせた取組でグローバル人材、社会に貢献しようとするチャレンジを育成する
上記の「特色」をハブとした各取組の充実
○学習指導:各教科等を通した「グローバルアントレ」につながる実践
○進路指導:職場体験(地域探究)・上級学校調べ等
○総合学習:海外の学生との交流等
○シブヤ未来科:テーマ「貢献」につながる探究学習
地域、企業等との連携による探究的な学び
○ボランティア活動の展開:サマーフェスティバル、地域防災、町民大運動会、笹塚フェスティバル等地域の活性化
○体験活動の充実:もみ蒔き・田植え・稲刈り・餅つき・プールでサーフィン
<小中連携による効果的な教育課程の編成・実施>
→「学力向上」「生活指導」での連携教育活動の実現
○小中合同研修会(前期:中学校、後期:小学校)の充実
○中学校体験の充実 ー 体験授業・部活動体験(6月)

【目指す学校像】

- 「安心して通わせられる学校」
＜安全で安心な教育環境を提供＞
○「主体性と社会性を身に付けさせてくれる学校」
＜自分の働きかけで社会が少しでも良くなる実感を得る＞

【目指す生徒像】

- 「挨拶を自らできる生徒」(心を開いている生徒)
○「挑戦する生徒」(失敗を恐れない生徒)
○思いやりの心と規範意識(基礎基本)をもった生徒

【目指す教師像】

- 笹塚中を愛する教師
○授業で工夫を重ねる教師
○生徒の可能性を伸ばす教師

経営理念「チャレンジャーであれ」

ー 公立学校は地域の財産であるー

- ◆ 学校のエデュケーションに対する生徒・保護者の満足度
→「笹塚中生でよかった・笹塚中に通わせてよかった」
<関係者評価ー肯定的な評価(80%以上):全項目達成>
◆ 地域からの信頼
→ 多くの小学生が入学してくる学校
＜学区からの入学率:70%以上>
◆ 学校の取組の積極的な発信

校務DXへの取組(働き方改革)

ー円滑な校務運営の実現と組織的な対応力の向上ー

- ◆ 基本的な考え方:職層と職責の整合性
○ 主幹会議の毎朝開催
○ 運営委員会の充実 ー 調整機能の発揮
→ 起案日程一覧に基づく進行管理
○ OJT実施体制の確立 → 教員の力量形成・職能向上
◆ ICT教育推進校としての経験を活かし、学校DXの推進(校務DX:働き方改革)
○ 業務の効率化 会議等の精選 ペーパーレス化 出退勤管理 等

安全・安心に挑戦できる環境

<社会性の確立>

- 集団生活における基本的なルール指導の徹底
→「ルールがマナーになる学校」の実現「自ら考えて行動できる生徒」の育成
○ 基本的な生活習慣の確立 挨拶キャンペーン 小学校・地域・PTAとの連携
○ 教育データを活用した生徒理解、学習・生活指導の推進、教育ダッシュボードの活用→諸課題の早期発見・早期対応←生活指導主任・学年主任等組織的な対応・緊密な連携・one on oneの時間を大切に
○ いじめに関する対応 <発生件数ゼロを目指して>
→ いじめ防止基本方針(未然防止・早期発見・事実確認・早期対応の徹底)
＊いじめに関するアンケート(月1回)＊SOSの出し方教育
○ 不登校対策「チャレンジクラスS組」(東京都教育委員会施策)の取組の研究
<特別支援教育の充実>
○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の確立
→ 校内委員会(月1回)の充実と全教員の情報共有・共通実践
○「個別指導計画」の作成と活用→要支援生徒の把握と支援の充実(年間)
○ 特別支援教室や教育相談室との連携強化
○ SC・支援員・SSW等との連携と効果的な活用→教育相談体制の充実
○ 教育相談主任の効果的な取組の研究
<安全指導>
○ 校内の危険箇所の点検と整備 校内の安全点検(毎日放課後・全教員)
○ 危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成 ー 体験型セーフティ教室の実施(年1回)
○ 年間計画に基づく安全指導を展開
ー 体験的な内容を取り入れた避難訓練を実施(毎月)

コミュニティ・スクールの推進

ー説明責任・結果責任を果たす透明性の高い学校経営ー
社会に開かれた教育課程 ー地域・保護者とともにー

- 公開土曜日(年5回)+保護者会等の内容充実
ー 公開日の内容・時程等の工夫
○ 保護者対象の関係者評価:80%以上回収(学校DX:formsで実施)
→ 学校経営の見直し・改善に活用 <全項目肯定的評価(80%以上)>
○ 地域貢献活動(奉仕活動)の更なる推進
→「地域に親しまれ愛される生徒」の育成 ※地域防災訓練(11月)
○ 町民大運動会・笹塚フェスティバルにボランティア・1学年の授業(探究学習)として参加
○ CS(学校運営協議会)充実:年6回 協議会形式
○ 青少対地区委員会との連携:毎月管理職・生活指導主任の出席
○ 道徳授業地区公開講座の充実(7月)
○ PTA休会の中での工夫と、おやじの会との連携